

葛川をきれいにする会

-活動記録集-

第14号

(平成28年4月～平成29年3月)



平成28年5月21日萬年橋

葛川をきれいにする会編集委員会

USB

葛川憲章

- 1 葛川を蘇らせるための清掃とあわせて、町民の「川をきれいにする」という意識を育みます。
- 2 失われつつある葛川の自然環境の復元と水質保全をはかります。
- 3 「水のある風景」としての葛川を守るために街並みや景観の保全につとめます。
- 4 誰でもが水遊びのできる、きれいな安全な川としての親水性を考えます。
- 5 「川は財産」と考え、町民に広く呼びかけて基金を設立し、維持管理など財産をまもるための活動を支えます。

記録集14号をお届けいたします。葛川の清掃活動も16年目になりました。野谷様の努力とASA朝日新聞二宮販売店の協力で発行している清掃予定日等のチラシがじわじわと効果を発揮し町民の当会に寄せる関心も高くなって来ました。新加入の会員も少しずつ増えてきました。力を合わせ葛川の浄化に邁進しましょう。

訃報 小林弘前代表が平成28年12月お亡くなりになりました。ご冥福をお祈り申し上げます



平成28年12月3日清掃活動200回記念研修旅行 丹沢湖「三保の家」庭先で
三保の家は湖底に水没した世附地区で昭和48年頃まで使われていた江戸時代末期の民家を移転復元して丹沢湖記念館横に設置されました。

ホームページ <http://www.scn-net.ne.jp/~kuzukawa>
湘南工科大学 太田安希子さん（指導二見助教授）の努力で作成

FP® US8

NO	通算	作業日	清掃区間	参加者				ゴミ袋		重量 Kg	備考
				人数 名	男性	女性	学生	20L	5L		
A		3月5日	花月橋～内輪橋～新田橋	15	11	4	—	28	1	115	
B	201	3月21日	新田橋～こゆるぎ橋	11	9	2	—	22	2	100	19.20日降雨
1	218	4月2日	田端橋～北根橋～前田橋	13	9	4	—	13	2	55	
2	219	4月16日	前田橋～新西谷戸橋～清水橋	17	12	5	—	22	2	105	
3	220	5月7日	清水橋～葛川橋～軒吉橋	20	15	4	1	19	2	50	学生八木
4	221	5月21日	軒吉橋～萬年橋	17	11	3	3	10	4	30	学生八木谷内山本
5	222	6月4日	萬年橋～妙見橋～花月橋	13	8	3	2	15	3	60	学生八木谷内
6	223	6月18日	花月橋～内輪橋～新田橋	15	12	2	1	13	3	40	学生谷内
7	224	7月2日	新田橋～こゆるぎ橋	17	12	4	1	10	3	70	*
8	225	7月16日	こゆるぎ橋～塩海橋	13	8	4	1	10	4	55	*
9	226	9月3日	塩海橋～下浜橋	15	11	3	1	22	3	110	*
10	227	9月17日	下浜橋～大塚町境	13	10	3	—	9	4	75	
11	228	10月2日	新西谷戸橋～清水橋	15	12	2	1	10	2	45	学生谷内
12	229	10月15日	清水橋～葛川橋	16	13	3	—	11	2	70	
13	230	11月5日	葛川橋～軒吉橋～萬年橋	15	11	3	1	16	2	115	学生谷内
14	231	11月20日	萬年橋～妙見橋～花月橋	13	12	—	1	18	2	95	* 19日降雨
		平成29年									
15	232	3月4日	花月橋～内輪橋～新田橋	15	12	3	—	18	3		自転車一台
16	233	3月18日	新田橋～こゆるぎ橋	17	14	3	—	26	4		古い自転車一台
			合計	270	202	55	13	292	48		

注 A, Bは葛川をきれいにする会の活動としては平成27年度

参考資料

平成16年	5,421Kg	平成23年	1,335kg
平成17年	1,721Kg	平成24年	1,435kg
平成18年	2,1392Kg	平成25年	1,732kg
平成19年	1,225kg	平成26年	1,265kg
平成20年	1,314Kg	平成27年	1,145kg
平成21年	974Kg	平成28年	1,190kg
平成22年	1,225Kg		

平成 28 年 (2016) 4 月「葛川をきれいにする会」第 15 回定期総会

司会 野谷 悦

開催日 平成 28 年 4 月 9 日 (土曜日) 9:30~11:30

会場 二宮町民センター

出席者 秋沢久男、遠藤恒夫、門脇義昭、佐藤 準、鳥居 仁、添田 崇、野谷 悦、細川三男

西園治雄、藤田尚志、横山喜代志

市川昌子 飛澤洋子 奈良淑子 原直奈子=原兼工務店=

議長 野谷 悦氏選出

議事

平成 27 年度清掃活動報告

報告 代表 門脇義昭

- 清掃日 16 日の中 5 日が天候悪く順延になりましたが
会員の協力で翌日及び 3 日後に清掃作業が出来全区域終了
 - 特に今年度からは一部区間を長くして 2 回清掃の区間が増えました。
 - 記録集 13 号 2 頁を参照してください。1,145kg のゴミを回収しました。
 - 大学生の参加が後半 1 名になり戦力不足になりました。
 - この戦力不足を打破するため今年から新聞にチラシを入れることにしました。
4 月 2 日分は添付しました。詳細は野谷事務長から説明いたします。
- * ゴミ〇キャンペーン 5 月 30 日に 3 名の方に参加頂きました *

平成 27 年度水質調査報告

報告 担当 藤田尚志

記録集 8,9,10,11、12、13、頁を参照下さい。藤田氏の原稿です (除平真)

平成 27 年度会計報告

報告 担当 細川三男

添付書類・細川氏作成・を参照して下さい。

会計監査報告

報告 野谷 悦

当初から会計監査を担当されてこられました茅尾正昭氏が高齢になり今回で辞任
したいとの申し出がありました。後任を西園治雄氏にお願いしました。 **全員賛成**

質疑応答 特にはない。

平成 28 年度予定

- ① 清掃予定 葛川の清掃記録集 20 頁参照、ゴミ〇その他 説明者 門脇義昭
ゴミ〇キャンペーン参加は 6 月 4 日の予定、清掃日と重なり参加無理
4 月 16 日の清掃区間 前田橋～新西谷戸橋～清水橋に延長
5 月 7 日の清掃区間 清水橋～小田厚道下～葛川橋～軒古橋に延長
7 月 16 日 集合場所 塩海橋 10 月 15 日集合場所 葛川橋に訂正
- ② 平成 28 年度予算案 参加者全員賛成 説明者 門脇義昭
- ③ 定例会開催について 野谷様から説明 又二宮、一色山西小学校の有志の
先生と葛川の歴史等の勉強会を 6 月に福祉センターで開催予定、「葛川をきれいにす
る会」からも参加をしてほしい。了解。
- ④ 連絡網について
復活して 1 年経過しました。携帯電話メール等の使用をもっと有効に使用するよ
うに参加者から要望あり。至急対応を代表が考える。
門脇→ 野谷 塩見、佐藤準 携帯電話メールを至急調査
細川 鳥居、小林
藤田 長谷川、秋沢、西園
奈良 市川、飛澤、
門脇 原兼工務店、遠藤、横山、佐藤久名川、学生
- ⑤ 研修旅行を 12 月 3 日 (土曜日) に実施したいと考えています。
*問題は汚水処理所見学が土曜日出来るか調べる
- ⑥ その他

葛川をきれいにする会・平成28年6月定例会

開催日 6月11日

参加者 野谷、長田、細川、塩見、佐藤等、藤田、門脇 7名 会場「駅北口・いなかもん」

議題 ① 清掃関係

4月2日(土曜日) 清掃区間 田畑橋下流～前田橋 参加者13名

男子：塩見、細川、秋沢、西園、藤田、佐藤久、横山、名川、門脇 女子：市川、飛澤、奈良、原

ゴミ：燃えるゴミ10 缶1、金属1破砕ゴミ1、 20L袋13 小袋2 合計15袋

4月16日(土曜日) 清掃区間 前田橋～清水橋 区間延長 参加者17名

男子：門脇、野谷、鳥居、長田(新加入)、細川、秋沢、西園、遠藤、佐藤久、横山、名川、門脇

女性：市川小優、飛澤、奈良、原

ゴミ：燃えるゴミ15 缶1、金属2 破砕ゴミ2 20L袋22 小袋2 合計24袋

マックスバリュース駐車場横(ネット越)多量のゴミが捨てられていた⇒回収

5月7日(土曜日) 清掃区間 清水橋～軒吉橋 区間延長 参加者20名

男子：野谷、佐藤準、塩見、鳥居、長田、細川、遠藤、秋沢、西園、難波(新加入)、佐藤久

藤田、横山、名川、門脇 大学生 八木

女性：市川、飛澤、奈良、原

ゴミ：燃えるゴミ11 缶2、金属2 樹脂2 20L袋17 小袋2 合計19袋

5月21日(土曜日) 清掃区間 軒吉橋～万年橋 参加者17名

男子：門脇、野谷、塩見、鳥居、長田、細川、西園、佐藤久、横山、名川、門脇、藤田

女性：市川、飛澤、原、大学生 八木、山本(新参加) 谷内(新参加)

ゴミ：燃えるゴミ6 缶1 金属1 破砕ゴミ2 20L袋10 小袋4 合計14袋

6月4日(土曜日) 清掃区間 万年橋～花月橋 参加者13名

男子：野谷、細川、秋沢、西園、佐藤久、横山、名川、門脇

女性：市川、飛澤、原、大学生 八木、谷内

ゴミ：燃えるゴミ10 缶1 金属2 破砕ゴミ2 20L袋15 小袋3 合計18袋

② 記録集配布 会員(定例会参加者&清掃参加者その都度渡す)

持参、二宮町環境課、小林弘、金子君子

郵送、平塚土木事務所、湘南工科大学、竹原、川野、政金、石井修、井手内、川上、松岡

新会員 遠藤 長田 難波 遠藤道夫(賛助会員) 山本&谷内(学生会員)

各種手続

A. 二宮町補助金 ¥40,000 担当者 山口尚人

B. 神奈川県平塚土木事務所 ¥171,720 担当者 藤井技師

A、B共手続済

C. マックスバリュウ東海(株)、お茶、佐藤久大氏と引取り 2L・61本

なおマックスバリュウ東海(株)二宮店は6月11日より「ザ・ビッグ」と改称

「黄色いレシートキャンペーン」は従来通りです。毎月11日実施。

皆様のご協力をお願いします。

その他

イ ゴミ0(二宮海岸清掃)キャンペーンは

6月4日：清掃日と同日参加せず。

事前に「環境課」に連絡済。

ロ 6月3日 野谷さん主催の教員の研修会で

「葛川をきれいにする会」の説明をする。

参加 野谷、秋沢、細川、藤田、門脇、原さん6名

* 詳細説明 野谷様より

写真参照

ハ 水質調査 藤田氏より 5月12日実施

次回8月22日予定

会計報告 細川様より

その他の議題 特にはなし



葛川をきれいにする会. 9月定例会

開催日 平成28年9月10日9:30～

会場：町民サポートセンター

出席者

野谷、鳥居、細川、遠藤、藤田、門脇、谷内さん

司会進行・野谷

議題 ① 清掃関係

イ 6月18日 花月橋～新田橋 参加者15名（男性12、女性2、大学生1）
ゴミの内容 可燃ごみ20L袋10、缶20L袋1 金属20L袋2 小袋3 計16個

ロ 7月2日 新田橋～こゆるぎ橋 参加者17名（男性12、女性4、大学生1）
ゴミの内容 可燃ごみ20L袋8、缶20L袋1 金属20L袋1 小袋3 計13個

ハ 7月16日 こゆるぎ橋～塩海橋 参加者13名（男性8、女性4、大学生1）
ゴミの内容 可燃ごみ20L袋8、缶20L袋1 金属20L袋1 小袋4 計14個
財布拾い元町交番に届ける

ニ 9月3日 塩海橋～下浜橋 参加者15名（男性11、女性3、大学生1）
ゴミの内容 可燃ごみ20L袋18、缶20L袋2、金属20L袋2、その他2、小袋3 計25個

注 ウナギがいた。

② その他の活動

イ 7月29日 神奈川県平塚土木事務所 細川&門脇訪問 前期清掃活動写真を持参

ロ 8月5日 湘南工科大学 八木君の活動報告を聞きに行く 野谷、細川、門脇3名
写真参照

ハ 8月31日 葛川の水質調査 藤田担当より報告 *下段の写真を参照*

ニ 9月5日 環境課に請求書持参：細川、秋沢、門脇 環境課和田課長、山口、添田担当
金額 40,000円

ホ 9月6日 地域政策課広報統計班 林さん（前任国分氏）と広報にのみやに掲載の
後期清掃予定打合せ＝☎ 9月23日発行



③ 会計報告 細川担当 町役場補助金未入

④ その他

10月15日（土曜日）清掃後バーベキュー会場確保
湘南二宮炭焼き会 中條事務長に面会。

野谷氏より準備品リスト提出

15日雨天の場合22日に顺延（清掃も）

野谷氏葛川の歴史調査続行

⑤ その他

湘南工科大学学生山本君都合で脱会

湘南工科大学にて八木君「葛川をきれいにする会」清掃活動に参加した体験を発表



二宮町飯宿橋で採水



環境科学センターにて採水を分析

USB

「葛川をきれいにする会」平成 28 年 12 月定例会

開催日 12月10日(土曜日) 18:00~20:00 議事進行 野谷事務長

会場 秀水亭(二宮町二宮 799-9 ☎0463-73-0054)

出席者 細川、藤田、飛澤、西園、長田、堀見、長谷川、野谷、門脇。

議題 清掃関係

9月17日(土曜日)下浜橋~大磯町境 参加者13名(男性10 女性3)

20L袋9袋 小袋4袋 計13袋 その他主なものタイヤ1個

10月2日(日曜日)新西谷戸橋~清水橋 参加者15名(男性12 女性2 大学生1)

20L袋10袋 小袋2袋 計12袋

10月15日(土曜日)清水橋~葛川橋 参加者16名(男性13 女性3)

20L袋11袋 小袋2袋 計13袋

12時よりバーベキュー

11月5日(土曜日)葛川橋~万年橋 参加者15名(男性11 女性3 大学生1)

20L16袋 小袋2袋 計18袋 その他主なもの 錆びた鉄板一枚

11月20日(日曜日)万年橋~花月橋 参加者13名(男性12 大学生1)

20L袋18袋 小袋2袋 計20袋

その他 11月25日(金曜日) 神奈川県平塚土木事務所を細川、門脇で訪問・山崎様に面会

担当藤井主任出張中(清掃写真 清掃日4枚=L版=とCDを持参)

合わせて神田交通(前島氏)訪問

平成 29 年度清掃区分に関しては野谷事務長から提案

4月1日 前田橋(前田橋~田端橋) 4月15日 新西谷戸橋(新西谷戸橋~前田橋)

5月6日 清水橋(清水橋~新西谷戸橋) 5月20日 軒吉橋(軒吉橋~清水橋)

6月3日 万年橋(万年橋~軒吉橋&花月橋~万年橋) 6月17日 新田橋(新田橋~花月橋)

7月1日 塩海橋(新田橋~鍛冶屋橋&塩海橋~鍛冶屋橋) 7月15日 下浜橋(塩海橋~下浜橋&~町境)

9月2日 前田橋(前田橋~田端橋) 9月16日 新西谷戸橋(新西谷戸橋~前田橋)

10月7日 清水橋(清水橋~新西谷戸橋) 10月21日 軒吉橋(軒吉橋~清水橋)

11月4日 万年橋(万年橋~軒吉橋&花月橋~万年橋) 11月18日 新田橋(新田橋~花月橋)

30年3月3日 塩海橋(新田橋~鍛冶屋橋&塩海橋~鍛冶屋橋) 3月17日 下浜橋(塩海橋~下浜橋~町境)

水質調査に関しては藤田担当から報告

経理関係は 細川担当から報告

その他 新年会の開催有無 バーベキューの開催は

定例会の場所は町民センターに変更 平塚土木事務所に県会議員と訪問の件

写真 左 10月15日バーベキュー、炭焼き小屋にて

右 12月3日(土曜日)研修旅行実施(参加会員16名)・延命堤



「葛川をきれいにする会」平成29年3月定例会

司会 野谷事務長

- 開催日 2029年3月11日
会場 町民センター、サポートセンター
出席者 門橋、藤田、細川、野谷
- 議題 清掃関係 3月4日(土曜日)花月橋～新田橋 参加者15名(男性12女性3)
20L袋18個 小袋3個 合計21個 他に自転車一台
- 記録集 現在編集中 50%プリント済
- 会計監査日 4月8日 総会有り 4月3日4日に開催したい
監査役の西園氏が不在で次回清掃時打合せ予定

葛川水系河川整備計画について

野谷事務長からの説明 説明後 質疑応答
3月24日(金)13時より町議会が開催される
3月18日の清掃時会員に傍聴を呼びかける

水質調査について

藤田担当からの報告
2月23日実施した記録の発表がありました

会計報告

細川担当より 最終数字は未定、3万円前後不足か
臨時負担を会員に依頼予定

その他

湘南工科大谷内さん4月15日から清掃参加予定
社会貢献活動支援室(東尾さん)に谷内さん中心の写真12枚送付
葛川の清掃をクローズアップしたいとの考え

4月8日総会準備

予算案細川担当が作成
会計監査の定員について→総会に提出

その他の議題

4月1日(土)清掃後バーベキューを開催
野谷事務長より購入品等リスト提出
*清掃順延の時の対応→4月2日会場
「炭焼き小屋」借用可能か*至急踏査

12月の研修旅行の目的地として
丹那断層公園を提案



平成28年5月12日 葛川水系 水質測定記録 (全リン、全窒素、COD、pH、導電率)

葛川をきれいにする会
地域の環境を良くする会

採水年月日 2016.5.12(木) 天候 晴れ 参加者 野谷 悦、藤田尚志

検体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
採水場所	宮上橋	宮向橋	巖島湿生公園	田端橋	向根橋	西谷戸橋	軒吉橋	打越川	田代川	新田橋	下浜橋	
採水時間	8:35	8:44	8:51	9:03	9:09	9:14	8:16	8:11	8:03	9:24	9:38	時:分
水温 °C	21.0	18.0	18.0	18.5	18.5	19.0	18.0	17.5	18.0	20.0	20.0	水銀 温度計
臭気												
その他												
水生生物												

◎ : 採水場所

- | | | |
|-------------|-----------|-------------|
| 1 葛川・宮上橋 | 5 葛川・向根橋 | 9 田代川・デニース橋 |
| 2 葛川・宮向橋 | 6 葛川・西谷戸橋 | 10 葛川・新田橋 |
| 3 葛川・巖島湿性公園 | 7 葛川・軒吉橋 | 11 葛川・下浜橋 |
| 4 葛川・田端橋 | 8 打越川・仮宿橋 | |

測定年月日 2016.5.12(木)

参加者 野谷 悦、藤田尚志

(鷺山 亨志)

検体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
採水場所	宮上橋	宮向橋	巖島湿生公園	田端橋	向根橋	西谷戸橋	軒吉橋	打越川	田代川	新田橋	下浜橋	
サンプル量 cc	50	50	100	100	100	100	100	100	100	100	100	CC
滴定量 cc	5.31	3.08	1.65	1.98	2.02	2.66	2.96	3.65	3.89	3.42	3.64	CC
ブランク 滴定量 cc	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	CC
補正 滴定量 cc	4.68	2.45	1.02	1.35	1.39	2.03	2.33	3.02	3.26	2.79	3.01	CC
COD	18.72	9.80	2.04	2.70	2.78	4.06	4.66	6.04	6.52	5.58	6.02	mg/L
PH	7.85	7.85	7.20	7.42	7.51	7.56	7.54	7.46	7.54	7.55	7.72	
導電率	38.2	33.2	31.6	30.8	30.7	31.1	31.7	38.3	40.1	34.9	34.3	ms/cm
全N(窒素)	全窒素の分析は実施しなかった											mg/L
全P(リン)	全リンの分析は実施しなかった											mg/L

●平成28年度から採水地点数を11ヵ所に減らし、採水も橋の上などからバケツで採る方法に変更した。
また、検体番号も上流から下流へ連番とした。

●前日までの三日間はぐずついた天気で葛川は洗われた。当日は濁りがなく水量はやや多い程度であった。

●CODは宮上橋で18.72と高めであった。一番低かったのは巖島湿性公園の2.04であった。

●pHは巖島湿性公園の7.20～宮上橋の7.85間で変化が少なかった。

●導電率は田代川で40.1と一番高く、向根橋で30.7と一番低かった。前日までの雨の影響で振れ幅は小さかった。

●全窒素と全リンは調査しなかった。

●野谷 悦会員は水質調査に初参加でした。

平成28年8月31日 葛川水系 水質測定記録 (全リン、全窒素、COD、pH、導電率)

葛川をきれいにする会
地域の環境を良くする会

採取年月日 2016.8.31(水) 天候 晴れ 参加者 門脇義昭、野谷悦、橋本直子、谷内優香、藤田尚志

検体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
採取場所	宮上橋	宮向橋	巖島湿性公園	田端橋	向根橋	西谷戸橋	軒古橋	打越川	田代川	新田橋	下浜橋	
採取時間	8:41	8:50	8:58	9:12	9:19	9:30	8:24	8:18	8:07	9:42	9:53	
水温 °C	22.7	20.1	17.5	20.3	20.2	21.0	20.0	20.0	21.0	22.0	21.8	ガラス温度計
臭気												
その他	黄色い	やや黄色い										
水生生物			小魚		小魚の群れ							

◎ : 採取場所

- | | | |
|-------------|-----------|-------------|
| 1 葛川・宮上橋 | 5 葛川・向根橋 | 9 田代川・デニーズ横 |
| 2 葛川・宮向橋 | 6 葛川・西谷戸橋 | 10 葛川・新田橋 |
| 3 葛川・巖島湿性公園 | 7 葛川・軒古橋 | 11 葛川・下浜橋 |
| 4 葛川・田端橋 | 8 打越川・仮宿橋 | |

測定年月日 2016.8.31(水)

参加者 門脇義昭、野谷悦、橋本直子、谷内優香、藤田尚志
(鷺山 亨志、五十嵐恵美子)

検体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
採取場所	宮上橋	宮向橋	巖島湿性公園	田端橋	向根橋	西谷戸橋	軒古橋	打越川	田代川	新田橋	下浜橋	
サンプル量 cc	50	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
滴定量 cc	6.00	3.53	0.82	1.44	1.47	1.72	2.45	2.66	2.51	2.79	2.63	
ブランク滴定量cc	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46	0.46	
補正滴定量 cc	5.54*4	3.07*2	0.36*2	0.98*2	1.01*2	1.26*2	1.99*2	2.20*2	2.05*2	2.33*2	2.17*2	敵定量-ブランク
COD	22.16	6.14	0.72	1.96	2.02	2.52	3.98	4.40	4.10	4.66	4.34	mg/L
PH	7.75	7.22	6.96	7.29	7.57	7.89	7.68	7.70	7.77	7.71	7.83	-
導電率	55.7	31.8	32.9	30.7	30.0	29.2	30.5	39.2	38.0	33.8	32.5	ms/cm
全N(窒素)	17.75	4.92	8.09	5.51	4.94	4.80	4.42	3.41	2.74	3.72	3.64	mg/L
全P(リン)	1.53	0.36	0.09	0.10	0.13	0.14	0.23	0.22	0.31	0.25	0.24	mg/L

- 今回は二宮小学校の橋本直子先生と湘南工科大学の谷内優香さんの研修目的も兼ねて実施した。
- 8月後半は台風が3個発生し東日本に接近、上陸したのでその影響があった。
水温が低いとか宮上橋を除いてCODが低目だった。
- バケツで採水できる最上流の橋として5月に調査を始めた宮上橋のCODは5月が18.72、
8月が22.16と汚れが目立った。
- PHは巖島湿性公園で6.96であり、7(中性)を僅かに下回った。
- 導電率は宮上橋で55.7と非常に高かったが、葛川の他の場所では29.2~33.8で低目であった。
- 全チツソは宮上橋で17.75と高かった。巖島湿性公園では8.09とその他の地点と比べて高かったが、
この傾向は以前から見られた。
- 全リンは宮上橋で1.53と高く、その他の地点は0.09~0.36の間であった。

平成28年11月17日 葛川水系 水質測定記録 (全リン、全窒素、COD、BOD、pH、導電率)

葛川をきれいにする会

地域の環境を良くする会

採水年月日 2016.11.17(木) 天候 快晴 参加者 野谷 悦、長田信夫、藤田尚志

検体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
採水場所	宮上橋	宮向橋	厳島湿生公園	田端橋	向根橋	西谷戸橋	軒吉橋	打越川	田代川	新田橋	下浜橋	
採水時間	8:46	8:55	9:06	9:24	9:31	9:39	8:24	8:15	8:02	9:54	10:09	時:分
水温 ℃	11.5	9.0	13.0	11.5	12.0	11.5	12.0	11.5	13.0	12.0	11.0	ガラス 温度計
臭気	少し											
その他	やや 黄色	僅か 黄色										
水生生物					小魚の 群れ							

◎ : 採水場所

- | | | |
|-------------|-----------|-------------|
| 1 葛川・宮上橋 | 5 葛川・向根橋 | 9 田代川・デニース橋 |
| 2 葛川・宮向橋 | 6 葛川・西谷戸橋 | 10 葛川・新田橋 |
| 3 葛川・厳島湿性公園 | 7 葛川・軒吉橋 | 11 葛川・下浜橋 |
| 4 葛川・田端橋 | 8 打越川・飯宿橋 | |

測定年月日 2016.11.17(木) 参加者 野谷 悦、長田信夫、藤田尚志 (鷺山 亨志)

検体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
採水場所	宮上橋	宮向橋	厳島湿生公園	田端橋	向根橋	西谷戸橋	軒吉橋	打越川	田代川	新田橋	下浜橋	
サンプル 量 cc	50	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	CC
滴定量 cc	4.19	4.90	1.49	1.18	1.40	1.43	2.07	2.60	2.51	2.33	2.11	CC
ブランク 滴定量cc	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	CC
補正滴 定量 cc	3.64*4	4.35*2	0.94*2	0.63*2	0.85*2	0.88*2	1.52*2	2.05*2	1.96*2	1.78*2	1.56*2	CC
COD	14.56	8.70	1.88	1.26	1.70	1.76	3.04	4.10	3.92	3.56	3.12	mg/L
PH	7.31	7.17	6.98	7.58	7.64	7.67	7.58	7.64	7.60	7.66	7.65	-
導電率	37.6	41.1	36.0	31.9	30.1	31.3	32.2	37.9	39.7	36.1	36.1	ms/cm
全N(窒素)	11.69	8.29	9.32	7.79	7.38	7.47	6.63	4.12	3.12	5.68	5.51	mg/L
全P(リン)	1.27	0.82	0.12	0.09	0.11	0.12	0.18	0.20	0.33	0.24	0.21	mg/L

●CODは宮上橋で14.56と汚れが目立ったが、5月の18.72、8月の22.16に比べると低かった。

●厳島湿性公園より下流では全般的にCODは低目であった。

●PHは厳島湿性公園で中性の7を僅かに下回ったが、8月の調査でも同じであり、それより下流では7.58~7.67と安定していた。

●導電率は宮向橋で41.1と高めであったが、厳島湿性公園より下流では30.1~36.1であった。

●全窒素は宮上橋で11.69と高く、次いで厳島湿性公園の9.32、宮向橋で8.29あった。

打越川、田代川は相対的に低かった。

●全リンは宮上橋で1.27と高く、厳島湿性公園より下流では全体に低目であった。

●長田会員は水質調査に初参加でした。

平成29年2月23日 葛川水系 水質測定記録 (全リン、全窒素、COD、BOD、pH、導電率)

葛川をきれいにする会

地域の環境を良くする会

採水年月日 2017.2.22(水) 天候 晴 参加者 藤田尚志

検体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
採水場所	宮上橋	宮向橋	蔽島湿性公園	田端橋	向根橋	西谷戸橋	軒吉橋	打越川	田代川	新田橋	下浜橋	
採水時間	11:12	11:22	11:35	11:45	11:52	12:00	12:10	8:20	8:10	12:22	12:31	時:分
水温 ℃	7.0	2.0	12.0	9.0	8.0	8.0	7.5	6.0	6.0	7.0	6.5	ガラス温度計
臭気												
その他	僅か黄色	僅か黄色										
水生生物												

◎ : 採水場所

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 葛川・宮上橋 | 5 葛川・向根橋 | 9 田代川・デニーズ横 |
| 2 葛川・宮向橋 | 6 葛川・西谷戸橋 | 10 葛川・新田橋 |
| 3 葛川・蔽島湿性公園 | 7 葛川・軒吉橋 | 11 葛川・下浜橋 |
| 4 葛川・田端橋 | 8 打越川・坂宿橋上流 | |

測定年月日 2017.2.23(木)

参加者 野谷悦、長田信夫、大畑栄伸、藤田尚志

(麓山 亨志)

検体番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
採水場所	宮上橋	宮向橋	蔽島湿性公園	田端橋	向根橋	西谷戸橋	軒吉橋	打越川	田代川	新田橋	下浜橋	
サンプル量 cc	50	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	CC
滴定量 cc	5.77	7.61	4.48	1.78	1.74	4.24	2.53	2.26	3.36	3.10	2.85	CC
ブランク滴定量cc	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	CC
補正滴定量 cc	5.42*4	7.26*2	4.13*2	1.43*2	1.39*2	3.89*2	2.18*2	1.91*2	3.01*2	2.75*2	2.50*2	CC
COD	21.68	14.52	8.26	2.86	2.78	7.78	4.36	3.82	6.02	5.50	5.00	mg/L
PH	7.33	7.19	6.83	7.57	7.63	7.66	7.62	7.66	7.37	7.63	7.69	-
導電率	39.3	39.1	32.5	30.6	30.8	30.9	29.9	34.7	34.7	32.5	35.5	ms/cm
全N(窒素)	11.42	8.46	8.15	7.12	6.90	6.71	6.44	4.00	4.00	5.62	5.59	mg/L
全P(リン)	1.34	1.26	0.16	0.12	0.14	0.15	0.24	0.21	0.46	0.30	0.31	mg/L

●分析予定日の天候が強風、雨の予報で、前日に採水を行った。採水時間は通常より3時間遅く実施した。

●1月、2月と降水量が少なくこの影響が見られた。

●CODは宮上橋で21.68と汚れが目立った。参考までに5月は18.72、8月は22.16、11月は14.56であった。

●CODは宮向橋、蔽島湿性公園まで高目であり、3を下回ったのは田端橋と向根橋の2ヶ所だけであった。

●PHは蔽島湿性公園で中性の7を僅かに下回ったが、8月の調査でも同じであり、それより下流では7.19~7.69と安定していた。

●導電率は29.9~39.3であり、特に高い所はなかった。

●全窒素は宮上橋で11.42と高く、次いで宮向橋の8.46、蔽島湿性公園の8.15あった。

打越川、田代川は相対的に低かった。

●全リンは宮上橋で1.34、宮向橋で1.26と高く、蔽島湿性公園より下流では全体に低目であった。



28年4月2日清掃風景・前田橋



4月2日のゴミ・前田橋



28年4月16日清掃風景・清水橋上流



4月16日のゴミ・清水橋



5月7日軒古橋上流ゴミ引揚



5月7日のゴミ・軒古橋新幹線下



5月21日今日から大学生参加員が壺橋にて



5月21日のゴミ・萬年橋横



6月4日1年間清掃に参加した八木君(黒シャツの方) 今日で終了・花月橋



6月4日のゴミ・花月橋横



6月18日の清掃風景・新田橋上流



6月18日のゴミ・新田橋横



7月2日清掃風景・新田橋下流



7月2日のゴミ・新田橋横

7月2日安全祈願に・蔵島神社
葛川の源流・蔵島湿生公園内



7月16日、塩海橋下でチラシ大量に拾う



当日のゴミ、こゆるぎ橋



8月31日水質調査、向根橋で採水



採水を分析する・平塚市にある
神奈川県環境科学センターで



9月3日清掃風景、
塩海橋～下浜橋間



当日のゴミ、
下浜橋右岸公園



9月17日下浜橋に集合



当日のゴミ、下浜橋横公園



10月2日、**日曜日**、前日降雨
清水橋上流、堰がある



10月2日当日のゴミ、清水橋



10月15日清掃風景、葛川橋上流



10月15日当日のゴミ、清水橋



10月15日清掃終了後二宮町一色の「炭焼き小屋」でバーベキューを開催





11月5日清掃風景.萬年橋



軒吉橋新幹線下・大きな袋3枚拾得



当日のゴミ.萬年橋



11月20日(日) 前日降雨.織をセット



11月20日清掃風景.大応寺橋上流



当日のゴミ.花月橋



平成29年3月4日清掃風景.倉田橋下流



3月4日新田橋でゴミ分別



当日のゴミ新田橋



平成29年3月18日清掃打合せ新田橋.



3月18日清掃風景新田橋下流



当日のゴミ新田橋



平成28年12月3日文命堤と丹沢湖見学に行く

葛川をきれいにする会 会則

- 第1条 この会は、葛川をきれいにする会（以下「会」）という。
- 第2条 会は、主として葛川流域の環境の保全を計り、二宮町およびその周辺地域の良好な生活環境の維持・推進に寄与することを目的とする。
- 第3条 連絡事務所は代表宅に置く。
- 第4条 会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる活動を行う。
- (1) 葛川（その支流を含む、以下同じ）清掃・美化、水質改善、水生生物調査、水質調査等
 - (2) 葛川の環境保全に関する学習および環境保全意識の普及
 - (3) その他会の目的を達成するために必要な活動
- 第5条 会員は正会員・学生会員・賛助会員とし
会費は年会費・正会員2,000円 賛助会員一口1,000円以上 学生会員は無料とする。
- 第6条 役員は 代表・副代表・事務長・会計担当・専門担当若干名 兼任は可能。
会計監査は2名とする。任期は2年 再任は可能。
- 第7条 活動年度及び会計年度は毎年4月1日より翌年3月末日まで。
総会は毎年4月第二土曜日に催行。
定例会は6月・9月・12月・翌年3月第二週に催行（諸案件を検討）
総会・定例会の議事進行は事務長が行い（代行も可）議決は正会員の過半数で成立
- 第8条 (1) 清掃作業は、原則として3月から11月までの第一及び第三土曜日の9時30分からとする。
(2) 雨天、等の事情で作業を中止することがある。午前8時の気象状況等による。降雨確率70%以上は中止。
翌日（日曜日好天で増水してないときは清掃作業を行なう）
(3) 事務長（代行可）は、活動記録を二部作成し、二宮町環境課と神奈川県平塚土木事務所に提出する。
- 第9条 活動を中止（退会等）する時は役員に連絡する。
- 第10条 会則変更は定例会（又は役員会で）検討して総会で承認を得る。

葛川をきれいにする会のホームページは

<http://www.scn-net.ne.jp/~kuzukawa>

「葛川をきれいにする会」会員名簿

平成29年3月18日現在 順不同・敬称略

正会員氏名	役職	学生会員	賛助会員
秋沢 久男		谷内 優香	石井 修
市川 昌子		八木 智秋	井手内 清
遠藤 恒夫			○ 遠藤 道夫
長田 信夫			金子 君子
門脇 義昭	代表		川上 清
佐藤 久大			川野 泰明
添田 栄			佐藤 準
竹原 繁男			○ 塩見 勇
飛澤 洋子			高橋哲也
鳥居 仁			田中 克己
名川 博久			難波 二郎
奈良 淑子			㈱原兼工務店
野谷 悦	事務長		松岡 史子
西園 治雄	会計監査		峯尾 正昭
長谷川芳男			
政金 駿			
藤田 尚志	水質検査		
細川 三男	会計		
門間 光次			
横山喜代志			
小計	20名	2名	14名

関係先

2017年3月31日現在:(順不同・敬称略)

役所・企業名	住所・電話・Fax等	備考
二宮町役場 企画政策課・企画調整班 都市部生活環境課生活環境	〒253-0196 中郡二宮町二宮 961 電話 0463-71-3311 Fax73-0134 〒259-0131 二宮町中里 207-1 板美園内 ☎0463-72-3738 Fax0463-73-1330 E-mail kantyo@town.ninoniya.kanagawa.jp	(山口尚人班長)
神奈川県平塚土木事務所 河川砂防部河川砂防第一課	〒254-0073 平塚市西八幡 1-3-1 合同庁舎内 電話 0463-22-2711・内線 4203 Fax 0463-24-0488 (柳下→菅我→山崎→藤井)	
神奈川県湘南地域 県政総合センター	〒254-0073 平塚市西八幡 1-3-1 合同庁舎内 電話 0463-22-2711・ Fax.0463-23-0599	
神奈川県環境科学センター	〒254-0014 平塚市四之宮 1-3-39 電話 0463-24-3311 Fax 24-3300 Eメール・ k-center@erc.pref.kanagawa.jp	
湘南工科大学 社会貢献活動連絡協議会 主査 水谷 光	〒251-8511 藤沢市辻堂西海岸 1-1-25 電話ダイヤルイン 0466-30- 事務 0272 教務 0274 学生 0278 shakou@center.shonan-it.ac.jp	二見助教 東尾淳子
朝日新聞社・平塚支局	〒254-0815 平塚市横浜町 13-1 電話 0463-35-3246 Fax 35-3285	
神奈川新聞社	〒231-8445 横浜市中区太田町 2-23 電話 045-227-0001 Fax045-227-0015	
財団法人 神奈川新聞厚生文化事業団	〒231-8445 横浜市中区太田町 2-23 電話 045-222-0615 Fax045-222-0615	
神奈川新聞社・茅ヶ崎	〒253-0052 茅ヶ崎市幸町 20-43-503 電話 0467-87-1612 Fax0467-87-1522	
ASA 二宮	〒259-0131 中郡二宮町中里 988-5 電話 0463-71-1157 Fax0463-71-7488	
特タウンニュース社・平塚支社	〒254-0052 平塚市平塚 5-22-15-3F 電話 0463-33-5300 Fax0463-30-1250 E-Mail: tn-toyoda@townnews.co.jp	
(株)ザBIG 二宮店 マックスバリュウ東海株	〒259-0134 中郡二宮町一色 1207-1 電話 0463-71-8818 Fax0463-71-8812 〒411-0934 静岡県駿東郡長泉町下長蓮 303-1 環境社会貢献部 電話 055-999-2128	
にのみや町民活動 サポートセンター	〒259-0125 中郡二宮町二宮879-11961-1-3 社会福祉センター内 電話 0463-71-0141	
神田交通株	〒254-0082 平塚市東豊田 531-37 電話 0463-55-1313 Fax 0463-55-5500	前島新一郎

平成 29 年度清掃、総会、定例会スケジュール *全区間二回清掃*

年 月 日	清 掃 区 間	集 合 場 所 (9 時 30 分 清 掃 開 始)
29 年 4 月 1 日 (土)	田端橋～前田橋間	前田橋 県道一色インター近く消防団横
〃 4 月 15 日 (土)	前田橋～新西谷戸橋間	新西谷戸橋 県道バイパスコンビニ近く
〃 5 月 6 日 (土)	新西谷戸橋～清水橋間	清水橋 百合が丘団地中央入口近く
〃 5 月 20 日 (土)	清水橋～軒吉橋間	軒吉橋上流新幹線下の人道橋.西友近く
〃 6 月 3 日 (土)	軒吉橋～花月橋間	万年橋 県道二宮秦野線旧道.魚屋近く
〃 6 月 17 日 (土)	花月橋～新田橋間	新田橋 県道二宮秦野線新道和菓子近く
〃 7 月 1 日 (土)	新田橋～塩海橋間	塩海橋 国道一号線塩海グリニツク近く
〃 7 月 15 日 (土)	塩海橋～大磯町境間	下浜橋 二宮郵便局裏二宮中学校下
〃 9 月 2 日 (土)	田端橋～前田橋間	前田橋 県道一色インター近く消防団横
〃 9 月 16 日 (土)	前田橋～新西谷戸橋間	新西谷戸橋 県道バイパスコンビニ近く
〃 10 月 7 日 (土)	新西谷戸橋～清水橋間	清水橋 百合が丘団地中央入口近く
〃 10 月 21 日 (土)	清水橋～軒吉橋間	軒吉橋上流新幹線下の人道橋.西友近く
〃 11 月 4 日 (土)	軒吉橋～花月橋間	万年橋 県道二宮秦野線旧道.魚屋近く
〃 11 月 18 日 (土)	花月橋～新田橋間	新田橋 県道二宮秦野線新道和菓子近く
30 年 3 月 3 日 (土)	新田橋～塩海橋間	塩海橋 国道一号線塩海グリニツク近く
〃 3 月 17 日 (土)	塩海橋～大磯町境間	下浜橋 二宮郵便局裏二宮中学校下

8 月・12 月・1 月・2 月は休みです。雨天・荒天は中止・

* 当日午前 7 時の時点で判断 * メールまたは ☎ で連絡 予備日は原則翌日。

清掃用具(胴長・手袋・その他)・作業後の飲料水は事務局で準備し貸与します。

5 月 20 日・10 月 21 日の清掃は清水橋～葛川橋間と葛川橋～軒吉橋間の二手に分かれます。

6 月 3 日・11 月 4 日の清掃は軒吉橋～万年橋間と万年橋～花月橋間の二手に分かれます。

7 月 1 日・3 月 3 日の清掃は新田橋～鍛冶屋橋間と鍛冶屋橋～塩海橋間の二手に分かれます。

7 月 15 日・3 月 17 日の清掃は塩海橋～下浜橋間と下浜橋～大磯町境間の二手に分かれます。

総会・定例会の予定

年・月・日・時間	内容	場所
平成 29 年 4 月 8 日 9 時 30 分～11 時	定期総会	二宮町民センター
平成 29 年 6 月 10 日 9 時 30 分～12 時	定例会	会場未定
平成 29 年 9 月 9 日 9 時 30 分～12 時	定例会	二宮町サポートセンター・予定
平成 29 年 12 月 9 日 9 時 30 分～12 時	定例会	会場未定
平成 30 年 3 月 10 日 9 時 30 分～12 時	定例会	二宮町サポートセンター・予定

◎ 胴長に不具合がありましたら事務局までお知らせ下さい、対応致します。事務局門脇.090-7630-9998

◎ 葛川の水質調査は年 4 回を予定しています(6・9・12・3 月・実施日未定)

◎ 清掃の集合場所は現地・9 時 25 分です。作業時間は 2 時間前後です

◎ 研修旅行は 12 月 2 日を予定しています。

活動内容はホームページをご覧ください <http://www.scn-net.ne.jp/~kuzukawa> です

F6

葛川の散策

～ 鳥のお話 ～

富士見が丘一丁目 長田信夫

葛川は二宮の宝です。気軽に散策できる川が身近にある町は、多くはないです。対岸が見えないほどの川ではないですが、有志家により植えられたと伺っている枝垂れ桜やソメイヨシノの桜の並木を散策して楽しむことができます。川岸に立っていると堰を落ちる水の音は人工的ですが、川石を回る水の流れる音は高かったり低かったり可愛かったりと、四季折々音色が違って聞こえます。また、いろいろな生き物の営みも観ることができます。葛川は、大きな川では気が付かない、自然の姿に出会える宝庫でもあります。皆さんで大事にしながら、末永く大人も子供も憩える場としたいですね。

何年前か忘れましたが、12月の朝6時過ぎ、コサギ（この他に、葛川でアオサギ、ゴイサギ、チョウサギを見かけました）が、数十羽群れになって、倉田橋の下流で集会をしていました。何が話題になっているのか、未だに私にはわかりません。普段は単独で川を歩いて餌を探しているのをよく見かけますが、この集団行動をする様子に驚きました。冬の日と同時刻に合わせて、倉田橋の下で何度か待っているのですが、コサギの集会に再び出会えていません。魚を捕る時に、コサギは水中の石の周りや葦の根元を片足で立ち、もう一方の足をゆっくりと上下に動かしながら進めて探り、潜んでいる魚を追い出して捕獲する仕方を知っています。ゆっくりと探りを入れることは、潜んでいる魚を驚かせて急に逃げないようにしているのでしょう。そうしないと捕まえられないですから。不思議です、親から漁の方法を学ぶのでしょうか？ 中井町の葛川周辺には水田があり、コサギやチョウサギが多分タニシ(?)を探しているの見かけます。これまで見かけた様子から、これらのサギは夜明けに大磯の海岸方面から飛んできて、二宮上空を通り、中井町の湿生花園の方に行き、朝7時頃に帰りの途中の二宮の葛川で数羽が餌を求めて寄り道をするようです。大磯町の何処かに共同の住家があるのでしょうか。肉食なのでウンチが匂うと聞いたことがありますので、意外と棲み処は見つけ易いかもしれません。

葛川に関心を持つようになった他の動機があります。6年ほど前でしょうか、川岸を歩いている時、背中に鮮やかなライトブルーの帯（写真1、4）を背負っている鳥を川岸に生えている葦の葉の上に見たことです。カワセミ（川蟬、翡翠）と直ぐに思いました。私の頭の何処かに写真雑誌で以前目にしたライトブルーの記憶があったのでしょうか。実は、羽自体はこのライトブルーの色をしていません。羽の表面構造により自然光のライトブルー色が選択的に反射しているのです。構造色と呼ばれています。

この時以来、時間を見つけて葛川水系を歩いています。葛川は大磯町の西側で不動川と合流して相模湾に注いでいます。遡ると田代川、打越川と支流を集めていて、中井町の湿生花園を水源としています。これらの川にカワセミは留鳥として生息しています。田代川では、葛川との合流地点近くでカワセミを見ますが、上流ではまだ確認していません。一羽の川の占有領域は、大まかに川に沿って500mほどの範囲ではないかと推測しています。この領域に他のカワセミが侵入してくると鳴き声の調子からケンカをしていると思われれます。

カワセミは、川面の上2m位を結構早い速度で真っすぐに飛んでいます。深さ20～30cmの流れがある上にある木の枝、コンクリート壁やビニール管（写真参照）等において、主食の小魚が来るのを待っています。小魚を探しているときの目の表情は写真1のようで、一点に視線を当てて緊張した雰囲気です。他の写真の視線の様子と比べてみてください。魚を見かけると、一気にダイビングして（「ポッコ」比較的大きな音です）小魚を捕まえ（写真5）、止まっていた枝などに戻ります。場合によっては、くわえた小魚を岩などにぶつけて動きを止め、「頭」から呑み込みます。尾の方からですと鱗が喉にかかるのでしょうか。写真3のカワセミは嘴の下側がオレンジ色をしています。これが雌です。他は雄です。

写真2のカワセミは、倉田橋の近くを歩いている折に、偶然に橋げたに止まったところを撮影できました。向かって左足が通常の形（向かって右足と比べてみてください）をしていませんが、怪我でもしたのでしょう。でも、元気に飛び去りました。



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5

折にふれて川岸を歩いていると、イソシギ、カワウ、カモ、ハクセキレイ、キセキレイ、ジョウビタキ等々が葛川で生活をしているのを見かけます。葛川は小さな川ですが様々な鳥も住んでいる貴重な自然が残るところです。行きつけの理容店のご主人のお話では、小さい頃には葛川で友人たちとよく泳いだり遊んだりされたとのこと。是非、ゴミ等を捨てないようにし、いつまでも子供も大人も楽しめる葛川にしていきたいですね。

初めての水質調査

富士見が丘 長田 信夫



橋の上からバケツを投げ試料の水を採る

(平成 28 年 11 月 17 日 中井町宮上橋)

昨年の春から「葛川をきれいにする会」に参加させてもらいました。葛川の水質調査があるのでどうですかと秋の初めの頃に聞かれて、半世紀ほど試験管など持ったことがなかったし関連の知識もないのですが、調査の手伝いをすることにしました。何事もしてみないとわからない、何

でもしてみようとの大昔に流行った言葉を思い出したからです。

当日は藤田さん、野谷さんにいろいろと教えていただきました。11 か所で、橋の上からロープに結んだポリバケツを川面におとして、試料の水を採ります。ペットボトルに詰める前には、採った同じ川水でボトル内を必ず洗浄します。不純物が混ざらないようにする洗浄を済ませたかどうか、時に不確かになりますね、年齢のせいでしょう。

採水したボトルを持って平塚にある県の環境科学センターで水質調査をしました。マニュアルをみながら水質分析の下準備をするのですが、チンプンカンプンです。藤田さんに教えてもらい何とか分析器にかける試料を作り、計測することが出来ました。試験管内の液面と管の目盛合わせますが、目の位置や試験管の傾きに注意が必要で緊張します。飲酒による手足のふるえは、今のところ大丈夫でした。マニュアルに沿って検査作業をすすめるのですが、その化学的な意味は全く分からない、半世紀ぶりに化学の本を開いてみるつもりです。

入会した折にいただいた葛川の資料をみますと、平成 11 年度にこの調査は始まっています。もう 20 年近くの貴重なデータの積み重ねですね。皆さんと話していて教えていただいたのですが、これ等のデータは、水田の増減や浄化設備の設置状況を反映している一面が考えられます。継続したデータの蓄積はいろいろ教えてくれることがあり、極めて大事です。微力ながら、今後もお手伝いしていこうと思っています。

葛川（二宮町内）にかかる、名前の付いた橋

田端橋

中井町

田端橋は中井町

上北根橋

下北根橋

向根橋

前田橋

新西谷戸橋

西谷戸橋

清水橋

葛川橋

軒西橋

真年橋

貝ヶ窪橋

飯沼橋

妙見橋

大庄平橋

花月橋

内輪橋

河原橋

倉田橋

新原田橋

わんぱく橋

新田橋

川原橋

殿治屋橋

長壽橋

こゆるぎ橋

下浜橋

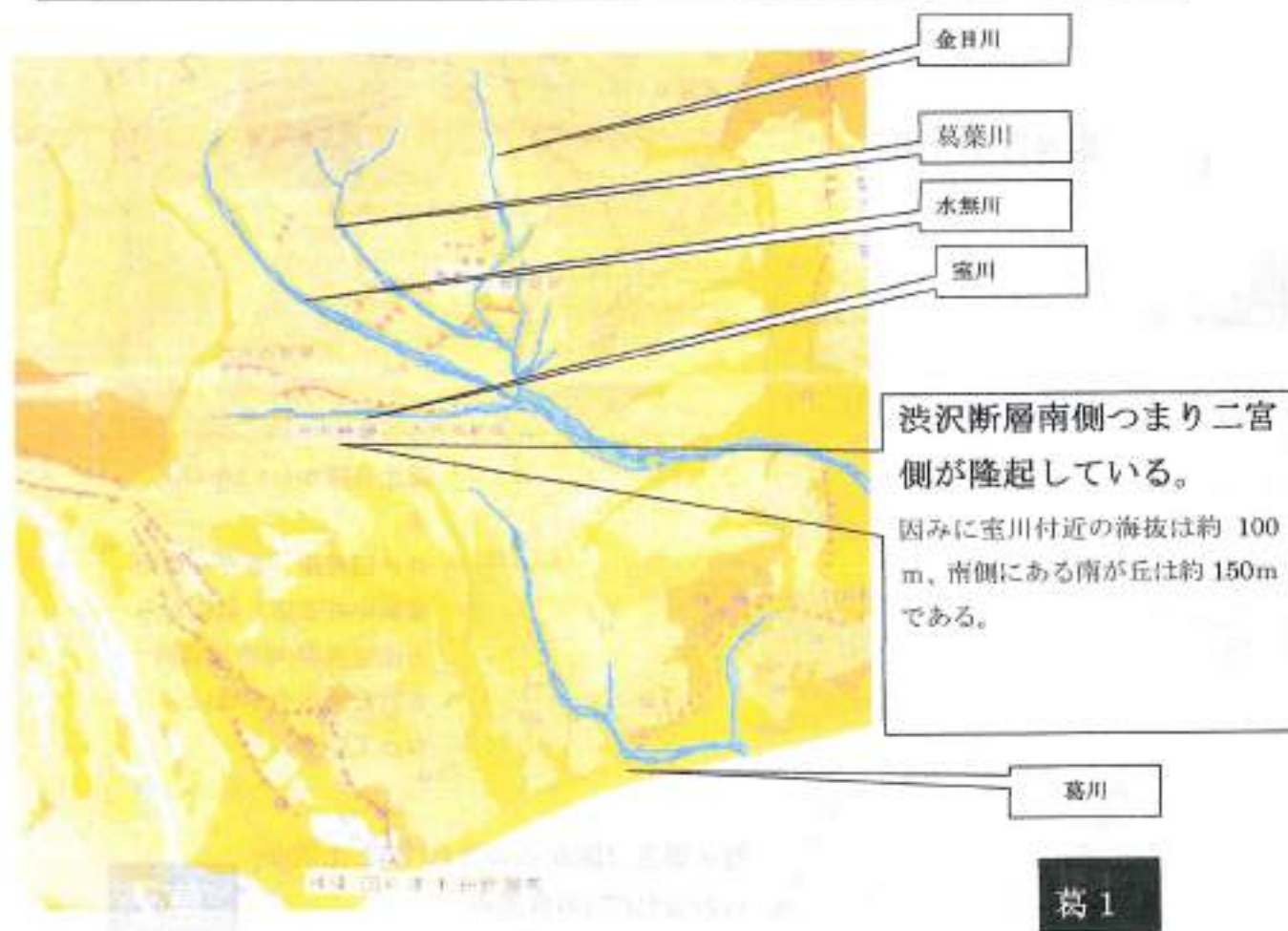
塩海橋

4 万年ほど前、葛川には丹沢の水が流れていた

大磯丘陵が形成される前の水無川や葛葉川などの河川は南に向かって流れていたが、約4万年前の渋沢断層の活動による大磯丘陵の上昇によって南流を阻止され、現在は東南方向に迂回する流路をとっている。特に室川の流路は水源域から渋沢断層の存在によって規制され、渋沢断層に沿って東に流れている。

(「秦野盆地周辺(秦野市)の地形・地質概要」 Biglobe より)

その証拠として、丹沢にしかみられないグリーンタフという石が一色の向根橋付近で見られる。森 慎一氏(元平塚市博物館学芸委員)



葛川の源流は「巖島湿生公園」といわれている。ところが、葛川はさらに約2.5キロさかのぼることができる。

葛川 もう一つの源流



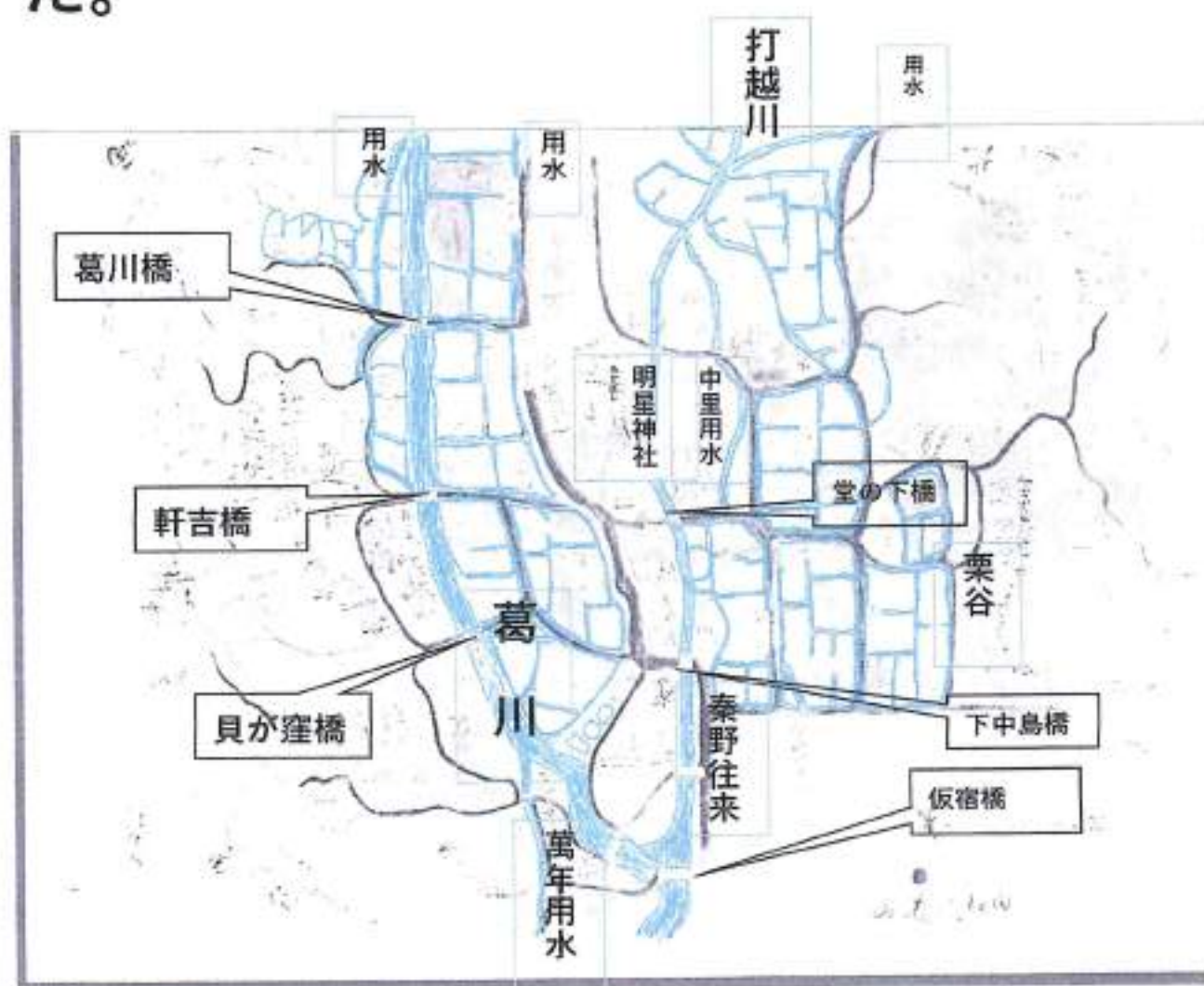
暗渠をたどること約1キロで東名高速道路の下をくぐる。
砂口という地区に入る。500メートルほど行くと、ようやく水のながれが家と家の間に見える。やがて畑に出ると行き止まり、草に覆われた「水神様」があった。地主さんは「だれかが勝手に設置した」と迷惑顔。(私有地なのでご注意)

1 巖島湿生公園

2 湿生公園から1.1キロ上流。井ノ口宮原「さがみ信用金庫中井支店」付近から上流は暗渠(地中に埋設された河川や水路)となっている。

巖島湿生公園からの流れ(左)と上流からの流れ(右)の合流点

中里は昔、葛川・打越川から主に4本の用水路が引かれ、水田が広がっていた。



元の絵図は「近世の中里村」(二宮町教育委員会(昭和56年度文化財調査報告書)に収録されている「中里村絵図」(小林良祐氏蔵)

いつのものかは不明。旧の秦野県道ができたのは1894年。図中の秦野往来では萬年橋が描かれていないなどから、それ以前の絵図であることは確かであるが「近世の中里村」に収録されていることからして、江戸時代の絵図と考える。

葛川の左岸はおそらくザ・ピック裏(一色1210先 上堰用水?)から、右岸は下流のおそらくサニーライフそば(一色1329先 馬田堰用水?)から用水が引かれている。

打越川の左岸、明星神社の上流付近から中里用水、現在の緑が丘3丁目付近からも用水が引かれている。

中里全域はこれら4本の用水路により、用水がはりめぐれされ、水田が広がっていた。

萬年用水によって約4haが水田となり、85石 (約1,275kg)の米ができる良田がつくられた



池田精一郎氏画

代官、万年七郎右衛門高頼は人びとの生活をゆたかにするために努力した人でした。農民たちと協力して水田開発に力を入れました。

高頼は現在の中里にある万年橋のすぐ上流にせきをつくり、くず川の水をせきとめました。そうすることにより水かさをあげ、水が「勝負の前」に流れるようにしたのです。

(1650年頃)

※せき...水をせきとめるために川の中につくったしきり

水田が開かれてから

「万年ぼり」・「万年せき」のおかげで多くの水田を開くことができ、お米もたくさんとれるようになりました。そして、人びとのくらしもゆたかになりました。

「にのみや」昭和62年5月 二宮町教育委員会 より

二宮村田方等級表より

地名	じょうじょうだ 上々田				じょうだ 上田				なかだ 中田				しただ 下田				計
	町	反	畝	歩	町	反	畝	歩	町	反	畝	歩	町	反	畝	歩	
勝負前	3			15		3	2	8									4
新田		8		28							5	13					
計	3	8	0	43	0	3	2	8	0	0	5	13	0	0	0	4	4
面積(m ²)	37,827				3,200				539				13				41,579
1町=10反	1反=10畝				1畝=30歩(坪)												
1町=9917.3m ²	1反=991.7m ²				1畝=99.2m ²				1歩=3.3m ²								

地名	じょうじょうだ 上々田				じょうだ 上田				なかだ 中田				しただ 下田				
	町	反	畝	歩	町	反	畝	歩	町	反	畝	歩	町	反	畝	歩	
勝負前	3			15		3	2	8									4
新田		8		28							5	13					
計	3	8	0	43	0	3	2	8	0	0	5	13	0	0	0	4	4

じょうじょうだ 上々田	じょうだ 上田	なかだ 中田	しただ 下田
2石/反	1石5斗/反	1石3斗/反	1石1斗/反

江戸時代の「田圃」より

石 77.43333333 6.466666667 0.933333333 0.133333333

本荘久美子氏が「二宮村検地帳」延宝5年(1667年)より作成したもの(平成4年「にのみやの歴史4号」をもとにして計算)

85

川名	測定地点	測定種類	BOD (mg/l)	自治体
1	鎌倉発電所放流水(鎌倉川)	A	0.40	神奈川県
2	77 鎌倉水位観測所	A	0.40	神奈川県
3	80 湖流入前	A	0.50	神奈川県
4	91 相模大橋	A	0.60	神奈川県
5	84 両国橋	(A)	0.60	相模原市
6	81 文久橋	A	0.65	神奈川県
7	66 吉原橋	A	0.60	神奈川県
8	75 鎌倉取水堰(上)	A	0.67	小田原市
9	56 新開橋	D	0.72	大和市
10	84 新橋もみじ橋	A	0.74	神奈川県
11	55 弁天橋	(A)	0.74	相模原市
12	40 橋田橋	C	0.76	大和市
13	52 幸川取水堰(上)	A	0.76	神奈川県
14	76 酒匂橋	B	0.77	小田原市
15	74 鶴巻橋	A	0.77	小田原市
16	71 泉境	A	0.80	神奈川県
17	50 昭和橋	A	0.80	厚木市
18	72 緑下橋	A	0.81	神奈川県
19	57 第一点陣橋	A	0.82	厚木市
20	73 十文字橋	A	0.83	神奈川県
21	97 千歳橋	A	0.84	神奈川県
22	85 早川橋	A	0.84	小田原市
23	32 清橋	B	0.88	神奈川県
24	34 神戸橋	D	0.89	神奈川県
25	59 第二点陣橋	(A)	0.89	厚木市
26	63 小田原鉄橋	A	0.90	神奈川県
27	69 芳野橋	D	0.97	小田原市
28	76 湖流入前	A	0.98	神奈川県
29	23 水邊橋	B+	0.98	横浜市
30	92 狩川橋	A	0.99	小田原市
31	83 山王橋	B	1.00	小田原市
32	53 馬入橋	B	1.04	国土交通省
33	56 馬船橋	(A)	1.06	神奈川県
34	25 瀬戸橋	B+	1.08	横浜市
35	41 吉倉橋	C	1.11	横浜市
36	18 神大橋	(B)	1.12	国土交通省
37	59 相川水位観測所	(A)	1.16	厚木市
38	14 臨海鶴見川橋	E	1.18	国土交通省
39	17 芝白橋	(D)	1.18	国土交通省
40	16 大竹橋	(D)	1.20	国土交通省
41	24 清水橋	B+	1.20	横浜市
42	41 河原橋	(B)	1.21	神奈川県
43	26 平瀬橋	B+	1.23	横浜市
44	9 平瀬橋(入道橋)	B	1.23	川崎市
45	49 小倉橋	A	1.26	相模原市
46	60 押切橋	C	1.31	神奈川県
47	44 いたち川橋	O	1.32	横浜市
48	70 観木橋	C	1.36	小田原市
49	27 湯沢橋	D+	1.37	横浜青木
50	21 水車橋前	(D)	1.38	川崎市
51	33 清川橋	B	1.43	神奈川県
52	36 高津橋	D	1.44	横浜市
53	6 橋前橋	B	1.47	川崎市
54	6 大郎橋	B	1.47	国土交通省
55	64 花水橋	C	1.49	神奈川県
56	1 多摩川原橋	B	1.51	国土交通省
57	35 常念橋	D	1.53	相模原市
58	4 両国取水堰(上)	B	1.56	国土交通省
59	28 大師橋	B	1.56	横浜市
60	3 三子橋(新三宮橋)	A	1.67	国土交通省
61	60 新竹沢橋	(A)	1.72	神奈川県
62	65 下之宮橋	C	1.74	厚木市
63	18 美上川橋	(B)	1.74	国土交通省
64	2 多摩水辺橋	B	1.77	国土交通省
65	66 立橋橋	C	1.83	平塚市
66	13 東谷橋	B	1.85	国土交通省
67	22 入江橋	B+	1.85	横浜市
68	49 富士見橋	C	1.99	横浜市
69	40 早川橋	C	1.99	横浜市
70	43 川名橋	C	2.07	横浜市
71	29 竹川宮流渠	O	2.09	横浜青木
72	5 六郎橋	B	2.09	国土交通省
73	7 若川橋	O	2.12	横浜市
74	37 新道大橋	D	2.13	大和市
75	30 下山橋	C	2.17	神奈川県
76	7 一の橋	C	2.19	川崎市
77	42 鹿野橋	C	2.20	横浜市
78	31 森戸橋	E	2.36	神奈川県
79	11 魚の子橋	D	2.39	国土交通省
80	67 吉田橋	C	2.42	神奈川県
81	12 大綱橋	B	2.49	国土交通省
82	20 耕池橋	(D)	2.53	川崎市
83	62 宮の下橋	(B)	2.60	厚木市
84	46 下土権大橋	C	2.67	横浜市
85	10 千代橋	D	3.19	横浜市
86	29 大進橋	D	4.21	横浜市
87	15 都橋	(D)	5.17	横浜市

葛川はきれいになった?

BOD値

県内87観測点中

80番目

「平成27年度神奈川県まとめ」をデータ処理すると

「邦川はきれいになった」という話を聞きます。

たしかに平成11年度にはBOD値で16ありましたが、ここ5~6年は2又は3前後となっています。

その意味では、たしかにきれいになったといえます。

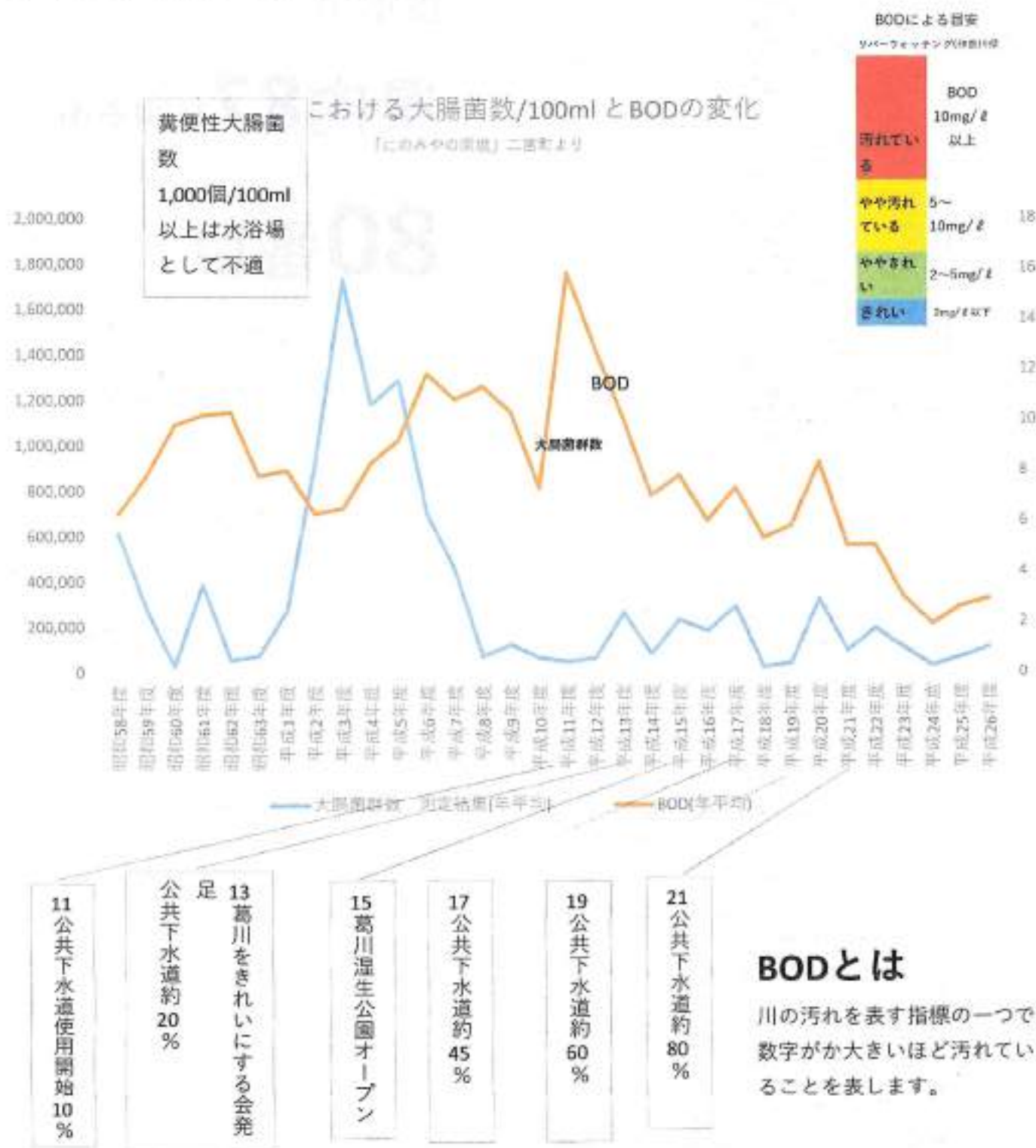
そこで、神奈川県の中ではどうなのかを調べてみました。

その結果、葛川は80/87番目という結果が出ました。

つまり、葛川は平成11年頃、県の中で最も汚れている川の一つであったのが、現在でもその位置は変わらないという結果が出ました。

葛川には水質改善のほかにも、葛川の親水化、魚道の設置など自然環境を回復することなど、様々な課題があります。

「葛川はきれいになった」という声を聞くが、 それで十分なのか？



BODについては平成11年をピークに近年3前後を推移している。そのことから一定程度きれいになったといえる。

一方大腸菌については平成3年をピークに下がってきている。しかし20万個程度/100mlと人が水遊びをするには、ほど遠いレベルである。

BODについては平成11年をピークに近年3前後を推移している。そのことから一定程度きれいになったといえる。

絶滅危惧種 葛川にウナギ!

9/3(土) 下川窪児童公園下(下町)を流れる葛川で掃除をしていました。



塩海橋付近の堰

上流には中里に1か所
百合が丘、一色にそれ
ぞれ数か所の堰がある

下川窪児童 公園

そのとき、全長60センチメートルくらいのウナギが泳いでいるのを見つけました。よろよろと泳ぎ、弱っているようでした。

うなぎの生態から考えて、稚魚が葛川をこの付近までのぼり、中洲などを住処にして成長したものと考えられます。

堰があることなどの理由でウナギが、さらに上流に上るのは無理だと考えられます。

年齢が70代より上の方から「昔は葛川にウナギがいて、よく捕ったものだ」という話を聞きます。しかし、200回を超える「葛川をきれいにする会の活動」でウナギを見かけたのははじめてのことです。

河川法(平成9年6月改正)では「河川環境の整備と保全」が追加され、治水・利水(田畑へ水をとるなど水を利用すること)だけでなく地域の意見を反映しながら、環境に配慮した河川の整備が求められています。

今後は、治水・利水とならんで、地域動植物の環境や風景など、貴重な自然環境を守り、さらに取り戻していく必要があります。



世界の科学者らで組織する国際自然保護連合(IUCN、スイス)は2014年4月12日、絶滅の恐れがある野生生物を指定する最新版の「レッドリスト」にニホンウナギを加えたと発表した。

マリアナ海域で産卵、海流に流されながら成長し、はるばる日本にやってきて、稚魚(シラスウナギ)が川を上り、大きくなる。(5年~12年)

やがて川を下り、産卵のため再びマリアナ海域へ向かうと考えられている。

モクズガニは堰を越える？

下流にも上流にも堰



西友そば
葛川橋



モクズガニ

モクズガニは繁殖のため海に下ります。そののち川を上ります。

川を上るのはアユやウナギも同じです。しかし、これらは途中の塩海橋、軒吉橋付近の堰のため上ることができません。2011年に私たち「葛川をきれいにする会」がアユの遡上を発見しましたが、それ以降は確認されていません。

葛川には二宮町の部分だけでも10近い席があります。

2011年の遡上も大水とかの偶然的要因で堰を乗り越えたと考えています。

さて、このモクズガニの発見は、どう考えたらよいのでしょうか？ 2016.10.15

「葛川水系河川整備計画」についての働きかけ

平塚土木事務所(神奈川県)は「河川法」(H9)に基づく「葛川水系河川整備計画」(以下「葛川整備計画」)を立案中である。それに対しての働きかけを行った。(平成28年12月から)

働きかけの内容は次の通り

「葛川整備計画」の内容に「子どもたちが水遊びできる葛川」に向けて、例えば「大岡川整備計画」(平成27年5月25日)の「遊歩道の整備」とか、「多摩川水系三沢川整備計画」(平成12年12月19日)の「階段を設置した護岸の整備」「高低差に配慮した落差工」など、「親水化」に向けた具体的な記述を入れてほしい。

また、二宮町はそのことを県に働きかけてほしい。

陳情先 平塚土木事務所

働きかけ(協力者) 県会議員 池田 東一郎 氏

(働きかけた順) 町議会議員 添田 孝司 氏

二宮町長 村田 邦子 氏

二宮町議会に「陳情案」を提出

1 新西谷戸橋から百合が丘入口清水橋

新西谷戸橋



イメージ図

2 小田原厚木道路から西友西葛川橋

小田原厚木道路下



邦川清掃の様子



河面に近い所
桜並木を下から見る事ができ

イメージ図



イメージ図



整2

3 新幹線そば 軒吉橋 から 八向公園そば 仮宿橋

軒吉橋



兩岸に土地に余裕がある所がある。

イメージ図



イメージ図



仮宿橋

4 二宮中学近くの坂を下りた所にある 下川窪公園付近に階段ベンチ

兩岸は公園なので斜面を利用できる



下浜橋

イメージ図



イメージ図



5 ラディアン南 河原橋から商工会館そば新原田橋 約250m

例

河原橋



遊歩道に降りる
スロープのイ
メージ図。



商工会館

イメージ図



川幅が比較的広い(新田橋約18
m)。車いすが通れる遊歩道を。

また、町民の通行が多く、シン
ボリックな場所になる可能性。

イメージ図



イメージ図



整4

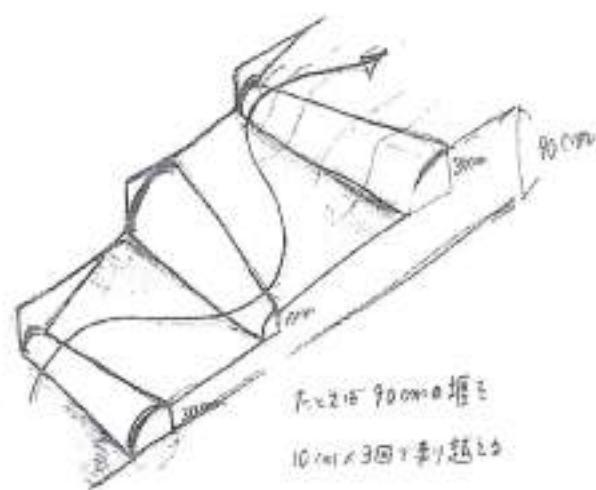
魚道の設置

邦川の二宮町を流れる部分には約10か所の堰。幸いに、二宮に設置されている堰は高さ1メートル程度。



軒吉橋付近 新幹線下の堰

イメージ図



例えば90cmの堰を乗り越えるのに
10cm x 3回で乗り越える。

イメージ図



平成29年2月8日

神奈川県が立案中の「葛川水系河川整備計画」についての陳情

二宮町議会議長
二見 泰弘 様

陳情者
二宮町百合が丘3-26-8 0463-71-9321
葛川をきれいにする会 代表 門脇 義昭 (印)

I 陳情の要旨

神奈川県は「河川法」に基づく、今後20～30年の具体的な工事計画を決めるとされる「葛川水系河川整備計画」(以下「葛川整備計画」)を立案中である。

その内容に「子どもたちが水遊びができる葛川」に向けて、例えば「大岡川整備計画」(平成27年5月25日)の「遊歩道の整備」、「多摩川水系三沢川整備計画」(平成12年12月19日)の「階段を設置した護岸の整備」、「高低差に配慮した落差工」など、「親水化」に向けた具体的な記述を入れるよう要を働きかけてほしい。

II 理由

私たち「葛川をきれいにする会」の願いは「誰でもが水遊びのできる、きれいで安全な川としての親水性を考える」(葛川をきれいにする会の思いをまとめた「葛川改革」より)というものである。

平成13年10月、私たち「葛川をきれいにする会」は「二宮町第4次総合計画」をつくるための前段で議論を交わした、当時の「二宮町まちづくり百人委員会」の有志11人が「話し合いだけでなく実践できることを」と呼びかけ、二宮の中心を流れる葛川の浄化に向け発足した。以来、平成29年度で16年目を迎える。

清掃活動は平成28年11月で232回を数え、水質調査は平成14年7月以来、年4回約10か所の地点で行っている。

一方、神奈川県は管理する2級河川全てについて「河川法」に基づき「河川整備基本方針」「河川整備計画」を策定しているところである。

「葛川水系」についても平成28年1月23日に「葛川河川整備基本方針」を決定し、平成29年上半年にも「葛川整備計画」を決定しようとしている。

今後20～30年の具体的な工事計画を決めるとされる「葛川整備計画」に、具体的な記述がなされないとしたら、私たちは、今までほとんど顧みられなかった「親水化」が、これからもさらに長期間進まないのではないかという、強い危機の念を抱かざるを得ない。

なかには、喫緊の問題として「洪水対策が先決」と考える方がいるかもしれない。

しかし、私たちがここで問題にしているのは、未来の葛川に対する問いかけである。「洪水対策」だけで、葛川の整備を終わらせてはいけないという、問題意識である。

私たちは「葛川整備計画」に具体的な記述を入れることが、未来の二宮の子どもたち(町民)のため、また「二宮町第5次総合計画」にある「環境と風景が息づくまちづくり」の実現に近づくための、確かな一歩になると考え、地方自治法第99条の規定により、神奈川県に意見書を提出するよう、次の通り陳情する。

III 陳情項目

○神奈川県が立案中の「葛川水系河川整備計画」に、「魚道の設置」「遊歩道の整備」など「親水化」に向けた具体的な整備内容を位置づけること

76

「葛川水系河川整備計画」に「遊歩道や魚道の設置」など具体性を持った記述を

Q&A

わたしたち「葛川をきれいにする会」の願いは「誰でもが水遊びのできる、きれいで安全な川としての親水性を考える」(お川をきれいにする会「葛川憲章」)というものです。その考えに基づき、県が立案中の「葛川水系河川整備計画」に、総論としての「環境に配慮」に加え「遊歩道や魚道の設置」など具体性を持った記述にしてほしいと願います。そのことにつきまして、二宮町に置かれましては県に対する働きかけをお願いします。

○「親水化」とはどのようなことか？

A 親水(しんすい)とは、水や川に触れることで水や川に対する親しみを深めることである。

古来、河川の氾濫は人々に大きな被害をもたらしてきたため、治水が行政にとって重要な課題であった。しかし近年、環境問題がクローズアップされ、河川においても、治水のほかに親水が重視されるようになった。

私たちは、治水のためにコンクリート護岸になってしまった川を、自然護岸に近い状態に戻して人々と川との間の垣根を低くすることで、川への親しみを取り戻し、水質汚濁を防ぎ、生物にやさしい川を取り戻したいと考えている。

私たちは葛川の水質改善が十分といえないこと、川幅が広くないこと、私有地が多いなどの条件を考慮して、当面の具体例として資料に示した「遊歩道」や「魚道」の例を挙げています。

○ 遊歩道と言うけれど、私有地が多いから無理だ。

A 葛川のすべての場所、でとは考えていない。「できるところから、できるものを作る」ことを考えている。できるかできないかではなく、できるところを探してそれに合ったものを作る、という考えである。

ですから、まずは新たな土地の取得をあまり伴わない、河道や護岸にそった遊歩道を作るということを中心に考えている。(前述の資料参照)

○ 遊歩道をつくることで洪水の危険が増すのでは？

A いくつかは護岸の下、あるいは護岸に沿った(前述の資料参照)など、沈水式の遊歩道を考えている。水の量が増えた時、そこは水をかぶる。ですから、遊歩道を作ったことによって洪水の危険が増すということは考えにくい。

○ 環境のことまで考えていたら「今の問題」、洪水対策が遅れるのでは？

A 気象庁は全国 1000 ポイントで雨量を観測している。50 mm以上の年間発生回数はこの 50 年で約 2 倍に増えて 207 か所となっている。

それを「A ポイントに於いて何年に一度、50 mm以上の雨が降るか？」という問題に置き換えると $1000 \div 207 \rightarrow 4.83$ つまり「A ポイントでは約 5 年に一度ぐらい 50 mm以上の雨が降る」ということになる。(確率年)

各河川の整備計画を見ると森戸川 30 年(80 mm/h) 境川 10 年(60 mm/h) 大西川 100 年(100 mm/h) とそれぞれ定めている。

葛川は現在の所、50mm/h（滝のようにプーと降る状態）で、洪水に起きないことを目標に河川整備が行われているが「葛川水系整備計画」においては5年(50 mm/h)以上の目標を決めていく必要がある。

しかし、洪水対策と同時に「親水化」を目指していく必要がある。

私たちが聞かれているのは、未来の二宮の子どもたち(町民)のための、また「二宮町第5次総合計画」にある「環境と風景が息づくまちづくり」の実現に近づこうとする意思があるかどうかということである。

困難点をあげて、あと戻りの道を歩むのか、困難点を少しでも克服するための方策を一緒に考えていこうとするのか、今私たち一人ひとりに、その問題が突きつけられている。

○ 「魚道」というけれど、どのようなものをつくるのか？

A 高齢の方から「昔は葛川でうなぎが取れたものだ」という話を時々聞く。

川を上るのはアユやウナギも同じである。しかしながら、これらは途中の塩海橋、新吉橋付近の堰のため上ることができない。

2011年に私たち「葛川をきれいにする会」がアユの遡上を発見したが、それ以降は確認されていない。2011年の遡上は大水とかの偶然的要因で堰を乗り越えたと考えている。

私たちの暮らしは、多様な種が関わりあいながら形成する自然の恵みに支えられている。複雑なバランスで成り立っている自然を守るために、まずは「うなぎやアユが昔のように川を遡れる」という具体的なことから始めていきたい。

堰は流水の速度を抑えるために必要である。葛川の二宮町を流れる部分には約10か所の堰がある。その堰のために、アユやウナギなどが、成長や産卵のために、上流へ遡上（流れをさかのぼって行くこと）することができなくなっている。その堰の問題点を少しでも解決しようとする試みが魚道設置である。

幸いに、二宮に設置されている堰は高さ1メートル程度で、それほど高いものではない。今の段階では、前述のようなものを考えているが、専門家の意見を聞きながら、どのような魚道が有効かを検討しなければならない。

○ 整備計画に「親水化」に向けた具体的な記述が入らなくても、年度、年度でお願いすればよいのでは？

A 県の動きとして河川法に基づく「葛川水系河川整備計画」を今年前半にも決定したい、という話も聞こえてくる。今後20～30年の葛川整備の方向性が決まるのは、このタイミングである。仮りに、私たちの願いが整備計画に反映されたとしても、技術的な問題や予算化で、すぐに実現できるとは考えてはいない。

しかし「葛川水系河川整備計画」に「親水化」に向かう「遊歩道や魚道の設置」など具体的な文言が入ることが、年度、年度で県にお願いする予算要望の確かな根拠になると考えている。

○ 河川整備基本方針と河川整備計画の違いは

A 河川整備基本方針は国民が等しく安全を享受できるよう国の安全についての保障水準を定めるようなものであり、個別地域の住民の意見を聴くことはない。

河川整備計画は、河川整備基本方針に沿って長期的な具体的整備内容を定めるものであり、地域住民の安全や河川環境に直接関わるものであるため、関係住民、関係自治体、学識経験者からの意見聴取を実施することとなっている。

○親水化などしたら、危険な川になる？

A 自然に危険はつきものです。

大人の役割は

危険だから 子供を川に近づかせない。危険だから海に近づかせない。危険だから山にちかづけさせない。危険だから…と自然から子供を隔離することでしょうか。そうではなく、大人の役割は自然と触れさせながら、自然の素晴らしさを実感させ、同時に自然から「身を守るすべ」を教えることではないでしょうか。また、「現代の子どもにはもっと多くの多様な自然体験が必要ではないか」という声が多くあります。

子どもたちは、小さい頃から、大人の愛情を注がれる、あるいは友だちと群れて遊ぶことによりコミュニケーション能力や人との関係によるストレスを回避することを学び、「群れて遊」び「けんか」をすることにより、他者の存在や自分の感情の動き、さらに仲間とルールをつくって遊ぶなどの調整的な能力をも獲得していきます。



左の調査結果でも、子どもの頃に海や川で泳いだこと等の「自然体験」が多い大人ほど、人前でも緊張せずに自己紹介ができるといった「人間関係能力」が高いとの調査結果が出ています。この調査結果から分かるように、子どもの頃の体験は、その後の人生に影響を与えるといえます。

「自然体験」の効用を認め、子どもの自己実現を支援していくのが大人の役割と考えます。

幼児期は
 “知識や知恵を生み出す種子”を育む
 その土壌を耕すとき
 アレイチェル・カーソン(アメリカの海洋生物学者・作家)

大人にとっても、自然に触れることで、より幸せになり、元気をもらう効果があります。

二宮町民にとって身近なところを流れる葛川
 何十年後かもしれないが、
 川のそばを散歩したり、
 土手で読書をしたり、昼寝したりできたら
 遊歩道を車いすの人が利用できたら
 アユ釣りをする人がいるかもしれない
 やんちゃな子は川の中に入りだすかもしれない
 そんな未来の葛川を夢見ます

○ 誰が管理するのですか？ 行政にはそんなお金はありません。

A 行政は、公共的作業を住民サービスという名のもと肥大化し、一方住民も、納税の代償としての当然の仕事として自治体に任せてきました。

ところが、今や国や地方は財政危機に陥っています。

「葛川をきれいにする会」は平成13年(2001年10月)、「二宮町第5次総合計画」の前段として設けられた「100人委員会」のメンバーが元になって作られました。

「100人委員会」は1年半位の間「これからの二宮町をどうするか」で話し合いました。報告書がまとまったとき、話し合うだけではだめで、それに向けて実行しなければ町づくりにはならないという認識で共通したメンバー11人で発足しました。「葛川をきれいにする会」は「住みたい町を、まずは自分たちの手で作ろう」という発想から生まれた団体です。

話し合いの中で一番の課題となったのはごみクズのクズと間違えるほど汚い葛川でした。

じゃあ何ができる、まずは掃除から始めよう。そして安全で子どもたちが中で遊べるようになったらいいねという願いを持って発足し、この4月で16年目を迎えます。

葛川はその当時よりも確かにきれいになりました。水質では課題もありますか、改善されつつあります。ゴミもすくなくなりました。ゴミが少なくなったのは「葛川をきれいにする会」がゴミを拾っていることもあります。ゴミを捨てる人がほとんどいなくなりました。「葛川をきれいにする会」の活動が、二宮町民のモラルを高めたと言ったら言い過ぎでしょうか。

葛川の管理には、地域住民・ボランティアがかかわっていく必要があります。しかし、地域住民・ボランティアだけでは不可能なこと、非効率なこともあります。

例えば清掃により出たゴミの処分や高木の枝払いなどは行政が受け持った方が良いでしょう。今まで二宮町にはゴミの回収などのお手伝いをお願いしてきました。

また作業中に事故が起きた場合の対応や責任の所在等も明確にしておく必要があります。

関係する県・二宮町や地域住民・ボランティアが対等な立場で、役割・責任分担について納得してとりくむことが必要不可欠です。

○ 「葛川は以前に比べてきれいになった」これで十分？

「葛川は以前に比べてきれいになった。これで十分」と考える方もいるかもしれません。

しかし、「(葛川水系河川整備基本方針 平成 28 年 1 月)にも「水質については、環境基準(河川 C 類型: BOD 5mg/L 以下)を達成しているが、さらに良好な水質となるように流域全体で努めていく。」と記述されています。そして、「遊歩道」など親水化につながる施設ができ、葛川がより身近になったとき、そういう方の関心が今以上に高まることを願っています。」

* 因みに平成 11 年度には BOD 値で 16 ありましたが、ここ 5~6 年は 2 又は 3 前後となっています。その意味では、たしかにきれいになったといえます。そこで、神奈川県の中ではどうなのかを調べてみました。「平成 27 年度神奈川県まとめ」をデータ処理すると県内 87 観測点中 80 番目という数字が出ました。つまり、葛川は平成 11 年頃、県の中で最も汚れている川の一つであったのが、現在でもその位置は変わらないという結果が出ました。

○ 環境優先か洪水対策優先か？

(東日本大震災6年)固められる、岸も川底も 宮城・気仙沼の川



宮城県気仙沼市本吉町を流れる沖ノ田川で、高さ約9メートルのコンクリートに挟まれた河床を安定させるため、石を敷く工事が続く。河口付近の両岸800メートルが、海沿いの防潮堤と同じ高さの堤防に囲まれた。現在、別のルートに流している水を工事後に戻せば、幅3メートル前後の川が現れる。

工事前はサケが遡上(そじょう)し、オタマジャクシが生息する川だった。かつて釣りをして遊んだという男性(56)は「環境や景観に配慮しないとんでもないものになった」となげく。一方で、「安全が優先」「豊かな自然は上流にある」と災害への備えを評価する住民もいる。(朝日新聞 2017.2.22 朝刊)

私たち「葛川をきれいにする会」は「親水化」の観点からの提案をしています。だからといって、「今の問題」洪水対策を否定しているわけではありません。洪水対策が優先か、「親水化」の観点が優先かの二者択一の問題でなく、洪水対策とともに「親水化」の観点の両方が大切だと考えています。私たちがここで問題にしているのは、「今の問題」でなく「未来の葛川」に対する問いかけです。「洪水対策」だけで、葛川の整備を終わらせてはいけないという、問題意識です。

それにも拘わらず、「今の問題」を理由にして、今後 20~30 年の具体的な工事計画を決めるとされる「葛川整備計画」に、具体的な記述がなされないとしたら、私たちは、今までほとんど顧みられなかった「親水化」が、これからもさらに長期間進まないのではないかという強い危惧の念を抱きます。

○ 関係する中井町、大磯町との連携は？

「葛川をきれいにする会」は二宮で活動している団体です。今のところ中井町、大磯町には存在しません。今後、他町に同様な団体ができたとき、連携を図っていく必要があります。

しかし、「葛川整備計画」は今年前半にも決定されようとしています。今ある組織の活用として「葛川サミット」を通じた県への働きかけをお願いしたいと考えています。

*「葛川サミット」は葛川流域の(神奈川県足柄上郡)中井町、(中郡)二宮町、大磯町が広域行政の一環として、葛川の清流を復活させることや葛川を活用したまちづくりなどについての連携を深めるため、平成14年8月に設置した組織です。(二宮町ホームページより)

「葛川サミット」発足の趣旨について

二級河川「葛川」は、中井町井ノ口地域の巖島神社周辺の湧水を源にし、二宮町のほぼ中央を北から南へ流れをとり、海岸段丘に近づくにつれ流れを東にとりながら大磯町へ、さらに河口付近で不動川と合流し相模湾へ注ぐ全長約7キロメートルの河川です。

この葛川は、昔から多くの産業や文化を育み、人々の生活と多くの関わりをもってきました。

しかし、戦後の経済成長により、河川沿いの宅地化や生活様式の変化などから結果的に汚染が進んでまいりました。

そのような中で、人々と葛川との関わりが薄れ人々の心から離れてきてしまっている現状にあります。

21世紀は環境の世紀とも言われており、葛川が自然環境の指標にもなり得ると考えられます。

「水」は人々の生活に「うるおい」や「やすらぎ」などを与えてくれます。葛川の清流を取り戻すことによって、自然体験が不足していると言われている子供たちに、その場を提供することができます。また、葛川によってもたらされた文化などの発掘や再発見、葛川を活用した流域のまちづくりにも資することができると思います。

そこでこの度、葛川流域の中井町・二宮町・大磯町は、広域行政の一環として、葛川の清流を復活させることや葛川を活用したまちづくりなどについての連携を深めるため、「葛川サミット」を設置いたします。

平成14年8月12日